

あなたの声をまちづくりに

ふれあい出張市長室

100回

山崎善也市長が、市民の活動の場に向いて懇談する「ふれあい出張市長室」。このたび、100回を迎えました。

■ 節目は絵本カフェで

100回の節目は、8月6日に開催。障害のある人が働く青野町の「Chou Chou サクラティエ」で、施設職員やスタッフと懇談しました。写真左。スタッフが「笑顔であいさつや店内の掃除などを頑張っている」、「バームクーヘンを焼く温度や時間は季節によって変わるので、うまく焼けるよう考えている」など、カフェや菓子製造につ

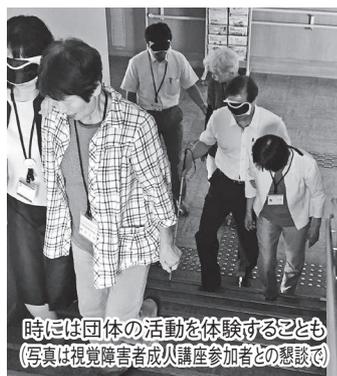


商品の作り方や製造時の工夫などを発表するスタッフ

いて紹介。自己紹介や意見交換の後は、スタッフが実際にカフェの注文から配膳までを行い、日ごろの接客の様子を披露しました。

■ 延べ1600人と懇談

ふれあい出張市長室は、市民の声を直接聞いて今後のまちづくりに生かすため、平成23年に始めた取り組み。8月9日には府立農業高等学校で101回目を開催し、延べ約1600人と懇談しました。活発な意見交換の中で出された意見は、重要なまちづくりのヒント。市で解決できる問題に限らず、国や府、関係機関への要望の材料としても活用しています。市は今後も、こうした広聴の機会を活用し、より良いまちづくりをすすめます。



時には団体の活動を体験することも（写真は視覚障害者成人講座参加者との懇談で）

あなたも懇談しませんか

市は、ふれあい出張市長室で市長との懇談を希望する団体・グループを募集しています。

● 日時

毎月、第2木曜日の午後1時30分～3時。
第4木曜日の午後7時～8時30分。
祝日や市長公務によって変更もあります。
事前にお問い合わせください。

● 申し込み

所定の申込用紙に必要事項を記入し、秘書広報課広報・広聴担当へ。用紙は同課で配布するほか、市ホームページにも掲載しています。ファクスや電子メールでも受け付けます。

● 問い合わせ

秘書広報課 ☎ (42) 4205 📠 (42) 4905
✉ hisiyokoho@city.ayabe.lg.jp



第101回参加 府立農業高等学校2年 黒川尚輝さん

卒業後しばらくは、綾部に住みながら農業をする予定です。今回初めて山崎市長と懇談し、市長の人柄が伝わりました。まちづくりに対する思いや取り組みを聞き、自分も綾部のために頑張りたいと思いました。



第100回参加 Chou Chouサクラティエ 大槻真理子施設長

恥ずかしがり屋のスタッフの声を市長にうまく引き出していただき、和やかな懇談に。障害者が働く現場を直接見て、スタッフや職員の思いに耳を傾けてもらいました。一緒に考え、応援して下さる気持ちが、今後の活動の励みになりました。

市議会議員18人決まる

任期満了に伴う綾部市議会議員一般選挙が8月26日に行われ、18人の新議員が決定しました。8月19日に告示された今回の選挙には、定数を3人上回る21人が立候補（現職12人、新人9人）。現職11人、

新人7人が当選しました。任期は9月1日から平成34年8月31日までの4年間です。今回も、市内40か所に投票所を設置。当日の有権者数は2万8562人、投票者数は1万6838人で、うち不在

者投票数は301人でした。今回は初めて上林いきいきセンターでも期日前投票を実施。期日前投票者数は4498人で、前回の3192人を1306人上回りました。投票率は過去最低の58・95割で、前回の61・49割を2・54割下回りました。当選者は次の通りです（得票順、敬称略、年齢は投票日時点）。

 片岡英晃 (35歳) 広瀬町 905票 無現・当選2	 種清喜之 (34歳) 物部町 1,054票 無現・当選2	 高橋 輝 (47歳) 高津町 1,074票 無現・当選4	 渡辺弘造 (67歳) 陸合町 1,101票 無新・当選1	 森 義美 (65歳) 十倉名畑町 1,115票 公現・当選5	 梅原哲史 (50歳) 中ノ町 1,231票 無新・当選1
 本田文夫 (65歳) 志賀郷町 781票 無新・当選1	 酒井裕史 (47歳) 上杉町 791票 無新・当選1	 中島祐子 (42歳) 有岡町 824票 共新・当選1	 井田佳代子 (58歳) 味方町 855票 共現・当選3	 藤岡康治 (45歳) 桜が丘一丁目 856票 無新・当選1	 吉崎 久 (67歳) 岡町 879票 共現・当選5
 塩見麻理子 (54歳) 里町 580票 無現・当選5	 安藤和明 (67歳) 青野町 699票 無現・当選4	 柳原秀一 (61歳) 物部町 717票 無新・当選1	 村上宣弘 (61歳) 栗町 759票 無現・当選3	 搦頭久美子 (63歳) 大島町 766票 共現・当選7	 荒木敏文 (64歳) 和木町 773票 無現・当選2

善聞語録



正常性のバイアス

災害心理学で使われる用語に「正常性のバイアス」がある。バイアスとは「偏り」の意味で、即ち、人が自分にとって都合の悪い情報を無視したり過小評価したりしてしまう特性を指す。西日本豪雨災害の教訓として、避難情報の発令にも拘わらず実際に避難した人の少なかつたことが指摘されている。その要因として「災害など他のまちの事」とか「自分の家は大丈夫」といった、まさに「正常性のバイアス」がかかった根拠のない理由が並ぶ。

我が家を離れたくないなどない

し、自分の布団で眠りたいと思うのは当然だ。各自がそれぞれその時と場に応じた安全基準を持ち、一定の経験に基づいた判断を行うことは、結果的に都合の良い理由となるかもしれない。2005年に米国ルイジアナ州をハリケーン・カトリーナが襲った際は、避難対象人数より多くの人が避難し大パニックになった。この、避難することに対する日米の感度の差はあまりにも著しい。これは自分の命は自ら守れ！と幼少時から教え込まれる自立自衛の開拓精神に起因するとも評される。

互いに助け合うという我が国の美徳を否定するものでは決してないし、経験則に基づく判断を「正常性のバイアス」を持ち出して一方的に責めるつもりもない。が、それはそうとしても、時として現実はずっと厳しいことを、7月の豪雨災害は教えてくれた。

山崎善也（綾部市長）

2年連続の栄光 全国茶品評会で産地賞



8月28～31日の4日間にわたり、静岡県で開催された第72回全国茶品評会。綾部市はかぶせ茶の部門で、昨年に引き続き、産地賞を受賞しました。

1等に3点入賞

茶種ごとに最優秀の市町村に贈られる「産地賞」。同一部門に3点以上の出品があった市町村の中から、審査成績上位3点の合計点で決定します。かぶせ茶の部門には、8府県の16市町村から107点の出品がありました。

1等1席（農林水産大臣賞）



関係者ら総出で、出品茶を丁寧に手摘み＝4月28日

は逃したものの、1等2席（農林水産省生産局長賞）綾部緑茶生産組合・出口則明▽1等4席（全国茶生産団体連合会長賞）両丹いきいきファーム・中田義孝▽1等5席（全国茶商工業協同組合連合会理事長賞）小西茶業組合・大槻正志の3点が上位に入賞（敬称略）。2年連続で産地賞に輝きました。

品質の証明に弾み

全国から出品された茶の中から、その年の優秀な茶を選定する「全国茶品評会」。かぶせ茶や玉露、てん茶、煎茶など8部門で、見た目や香り、風味などを審査します。

同品評会での入賞は、上質な茶として認定された証。全国に誇る茶の産地として、ブランド力の向上が期待できます。かぶせ茶の部門では平成20年度以降、JAにのくに管内（綾部市、福知山市、舞鶴市）が11年連続で産地賞を独占。本市は今回で5度目の受賞となりました。12月に東京都で褒賞授与式が行われ、再び優勝旗を受け取ります。

白寿の祝い

99歳おめでとー

ございませす

「百」の字から「一」を取ると「白」の字になることから、99歳は「白寿」と呼ばれています。市では、年度内に白寿を迎える方に記念品などを贈呈し、長寿をお祝いしています。

今年も男性7人、女性21人

本年の対象は、大正8年4月2日から大正9年4月1日までに生まれた人。男性7人、女性21人の計28人で、次の皆さんです（敬称略・誕生日順・掲載了解者のみ掲載）。

▽河北小菊（坊口町）▽梅田利男（上野町）▽古和田憲之亮（八津合町）▽岩木きぬ（青野町）▽廣瀬まかの（広瀬町）▽森本千代（多田町）▽巖政雄（西町三丁目）▽荒木

木喜久治（和木町）▽西村菊野（西町二丁目）▽田中シゲ子（井倉町）▽松本光恵（相生町）▽梅原しま（綾中町）▽渡邊尾野江（睦寄町）▽吉田ユワエ（於与岐町）▽大槻美智（小畑町）▽野崎すみ枝（西原町）▽四方和子（神宮寺町）▽長岡きく（小西町）▽小堂涼子（神宮寺町）▽青野美佐枝（東山町）▽大槻美行（豊里町）▽由里滝男（物部町）▽河田ツヤ（東山町）▽四方やゑ（位田町）▽大槻八重野（田野町）▽岩崎庸雄（旭町）▽本田まさゑ（物部町）



小学生90人が 綾部の“ものづくり”を体験

市は8月22日、青野町の北部産業創造センターで、綾部ものづくり体験ツアーを開催しました。小学生90人が、赤外線サーモグラフィーで人体の温度変化を観察＝写真。3DプリンターやX線透過装置などの機器に触れたほか、音と光のプログラミング体験、マイナス196度の液体ちっ素を使った実験をしました。とよさか町の住友理工ホーステックスの工場も見学。物部小6年の岩崎海翔君（新庄町）は「夏休みの自由研究に役立てられればー」などと話していました。

ライオンズクラブから コミナスへ車の寄贈

市は8月22日、綾部ライオンズクラブ（中村孝行会長）からコミュニティナース（以下、コミナス）の活動用車両として軽自動車の寄贈を受けました＝写真。同クラブ結成55周年の記念事業として取り組まれたもの。同日に味方町の京綾部ホテルで引き渡し式が開かれ、中村会長から「コミナスは地域に寄り添う大事な事業。この車を活用し、幅広く活動してほしい」とエールが送られました。



認知症について考える講座を開催

市や市立病院などは9月1日、西町一丁目のI・Tビルで、認知症について考える公開講座「認知症の人とともに～今、私たちに出来ること～」を開催しました。福岡県大牟田市の「はやめ人情ネットワーク」事務局の林洋一郎さんと市内で高齢者サロンを立ち上げた大島悟さん（栗町）が、認知症の人とその家族を地域で見守る取り組みについて講演。講演後は、参加者が座談会形式で認知症について考え、自分たちの立場からできることについて意見交換しました。

快挙!豊里クラブが全国ナンバーワン

8月2～5日に神戸市で行われた第49回全国ママさんバレーボール大会で、府代表として出場した豊里クラブ（佐々木悦子監督、16人）がゾーン優勝を果たしました。府北部チームの同大会優勝は、今回が初めての快挙です。

同クラブは、59チームが出場した府予選で優勝し、全国大会の出場権を獲得。各地から強豪が集まる中、岐阜県と埼玉県、北海道、徳島県を相手にいずれも2-0のストレートで快勝しました。

